

周南地区衛生施設組合  
新斎場整備運営事業

審査講評

令和 3 年 12 月 17 日

周南地区衛生施設組合  
新斎場整備運営事業者選定委員会

周南地区衛生施設組合新斎場整備運営事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、周南地区衛生施設組合新斎場整備運営事業（以下「本事業」という。）に関して、落札者決定基準（令和3年4月9日公表）に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

令和3年12月17日

周南地区衛生施設組合新斎場整備運営事業者選定委員会  
委員長 吉長 成恭

## 目次

<b>1 選定委員会の構成、役割及び開催経過</b> .....	1
(1) 選定委員会の構成 .....	1
(2) 選定委員会の役割 .....	1
(3) 選定委員会の開催経過 .....	1
<b>2 落札者の決定方法及び審査の方法</b> .....	2
<b>3 審査の結果</b> .....	4
(1) 資格審査 .....	4
(2) 提案審査 .....	5
<b>4 審査の講評</b> .....	8
(1) 各評価項目の講評 .....	8
(2) 審査の総評 .....	11

## 1 選定委員会の構成、役割及び開催経過

### (1) 選定委員会の構成

役職	氏名	所属等
委員長	吉長 成恭	(一社)ちゅうごくPPP・PFI推進機構 代表理事
副委員長	古田 健一	徳山工業高等専門学校 教授(建築工学)
委員	首藤 治久	元広島工業大学 教授(建築設備、空調・給排水)
委員	松井 淳	下松市 生活環境部 部長
委員	内山 教雄(令和2年度) 片山 康秀(令和3年度)※	周南地区衛生施設組合 事務局長

※人事異動による

### (2) 選定委員会の役割

選定委員会は、次の事項を所掌する。

- ・事業者の選定基準に関すること
- ・事業者による提案書その他資料の審査に関すること。
- ・事業者の選定に関すること。
- ・その他本事業の推進に必要な事項に関すること。

### (3) 選定委員会の開催経過

日程		主な議題等
第1回	令和2年12月22日	委員長及び副委員長の選出 選定委員会の流れについて 新斎場整備の概要について 実施方針(案)について 要求水準書(素案)について 現地視察
第2回	令和3年3月9日	第1回選定委員会議事要旨について 実施方針等に関する質問への回答及び意見について 特定事業の選定について 審査の進め方について 落札者決定基準について 入札公告以後の流れについて
第3回	令和3年7月19日	第2回選定委員会議事要旨について 入札説明書等に関する質問及び回答について 参加資格審査結果について 対面対話に関する質問及び回答について 提案審査の進め方について
第4回	令和3年10月1日	第3回選定委員会議事要旨について 基礎審査について 加点審査について
第5回	令和3年10月15日	第4回選定委員会議事要旨について 入札参加者プレゼンテーション及びヒアリング 加点審査 入札価格審査 総合評価(最優秀提案者の決定)、講評・総括

## 2 落札者の決定方法及び審査の方法

本事業における事業者の選定は、価格と技術提案を総合的に評価する総合評価一般競争入札とし、落札者決定基準について審議を行い決定した。

審査は、落札者決定基準に基づき、事業者の入札参加資格の有無を判断する「資格審査」と事業者からの提案内容等を審査する「提案審査」の2段階に分けて実施した。

「資格審査」では、事業者より提出された参加資格審査申請書類をもとに、入札説明書に記載の参加資格要件等について組合が審査を行い、事業者の参加資格を有しているか否かを確認した。

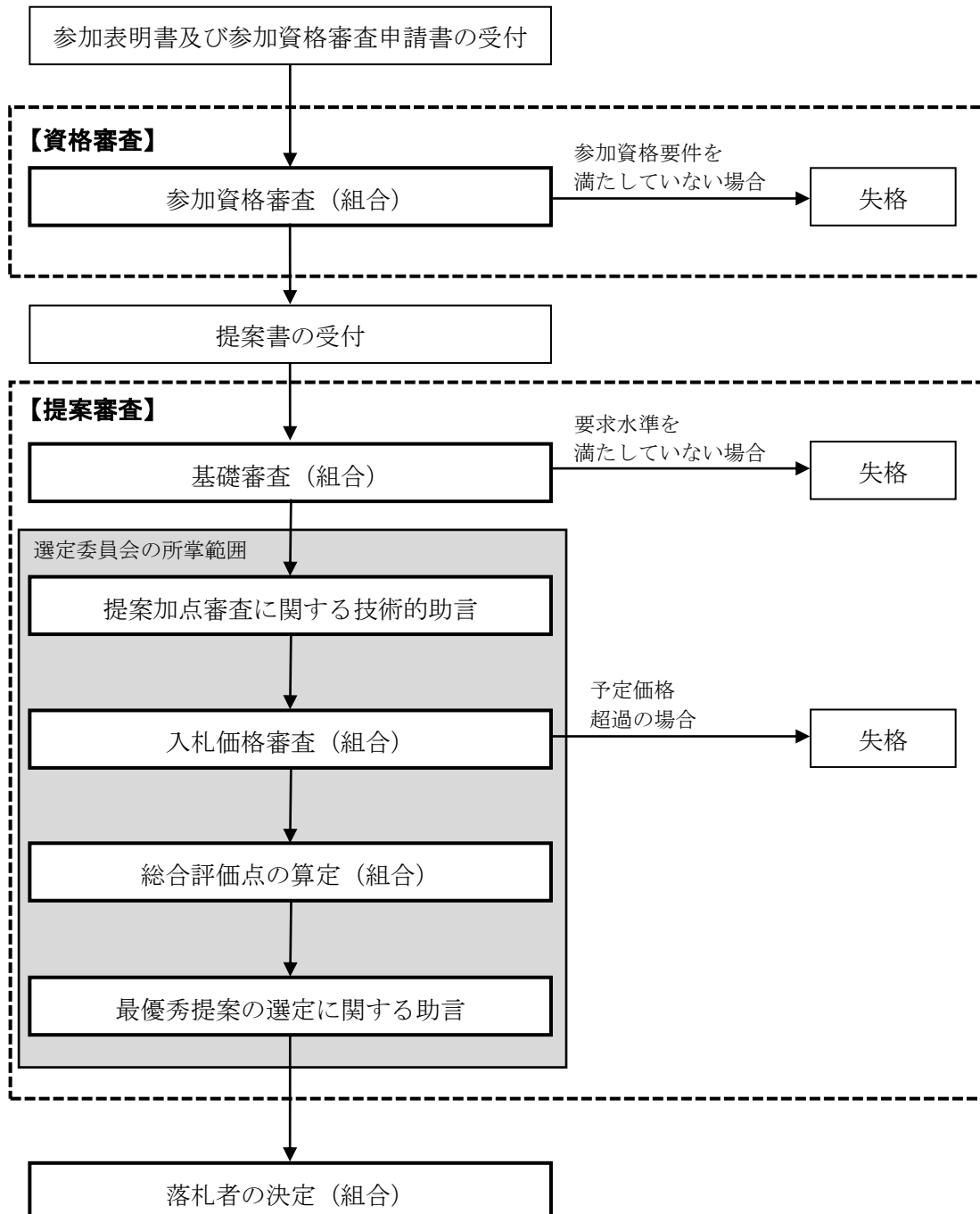
「提案審査」では、まず、事業者より提出された入札提案書（以下、「提案書」という。）に記載された内容が基礎審査項目を満たしていることを組合が確認した。

その後、選定委員会においては、落札者決定基準に基づき、具体的な提案内容の審査及び評価を行う加点審査を行った。

事業者より提出された入札書に記載された入札価格が予定価格の範囲内であることを組合が確認し、価格審査を行った。

選定委員会により最優秀提案の選定に関する技術的助言を行い、最優秀提案者を選定した。

< 落札者決定までの審査手順の概要 >



### 3 審査の結果

#### (1) 資格審査

締切期限の令和3年5月31日までに、3グループから参加表明書及び参加資格審査申請書等の提出があり、入札公告及び入札説明書に示す入札参加者が備えるべき参加資格要件等を審査した結果、いずれのグループも参加資格を有していることを確認し、令和3年6月1日付で参加資格確認書を各グループの代表企業に通知し、参加者記号としてクスノキ、ヤマモモ、クロマツを各グループに付与した。

#### <入札参加者一覧>

グループ名	参加区分	企業名	役割
熊谷組 グループ  (参加者記号 :クスノキ)	代表企業	(株)熊谷組 中四国支店	建設企業
	構成企業	洋林建設(株)	建設企業
		(株)中山組	建設企業
		(株)宮本工業所	火葬炉企業 火葬炉運転企業
		(株)合人社計画研究所	維持管理企業 運営企業 その他企業
		(株)ビークルーエッセ	維持管理企業
		(株)五輪	火葬炉運転 運営企業
		近藤商事(株)	その他企業
	協力企業	(株)石本建築事務所 九州オフィス	設計企業 工事監理企業
		(株)巽設計コンサルタント	設計企業 工事監理企業
		(株)YMFG ZONE プラニング	その他企業
東亜建設工業 グループ  (参加者記号 :ヤマモモ)	代表企業	東亜建設工業(株) 西日本建築支店	建設企業
	構成企業	時盛建設(株)	建設企業
		富士建設工業(株)	火葬炉企業 維持管理企業 火葬炉運転企業 運営企業
		フジ総業(株)	維持管理企業
	協力企業	(株)東畑建築事務所	設計企業 工事監理企業
		(株)笹戸建築事務所	設計企業 工事監理企業
		周南造園(株)	維持管理企業
		三菱HCキャピタル(株)	その他企業
五洋建設 グループ  (参加者記号 :クロマツ)	代表企業	五洋建設(株)中国支店 山口営業支店	建設企業
	構成企業	チューケン(株)	建設企業
		太陽築炉工業(株)	火葬炉企業
		太陽アーモ(株)	火葬炉運転企業 運営企業
		周防ビル管理(株)	維持管理企業
		(株)長大 山口事務所	その他企業
	協力企業	(株)大建設計 広島事務所	設計企業 工事監理企業

※構成企業からは代表企業を除いて記載している

## (2) 提案審査

### ア 提案書の確認

組合は、3グループから令和3年8月20日に提案書の受付を行い、提案書がすべて揃っていることを確認した。

### イ 基礎審査

組合は、入札参加者の提案書について、基礎審査項目を満たしていることを確認した。

### ウ 加点審査（70点満点）

落札者決定基準に基づき提案内容の審査を行った。審査にあたっては、参加資格確認書の通知時において設定した参加者記号により、企業名等を明らかにせずに、令和3年10月15日にヒアリング（プレゼンテーション及び質疑応答）を実施した。

また、各委員には価格審査の結果を事前に示さずに、次の5段階評価により得点を付与する加点審査を行った。

#### <評価項目の採点基準>

評価	判断基準	得点化方法
A	当該評価項目について特に秀でて優れている	配点 × 1.00
B	AとCの中間程度	配点 × 0.75
C	当該評価項目について優れている	配点 × 0.50
D	CとEの中間程度	配点 × 0.25
E	当該評価項目について優れていると認められない	配点 × 0.00



＜加点審査結果＞

評価項目	配点	クスノキ	ヤマモモ	クロマツ
1. 全体・事業コンセプトに関する事項 (1)・(2)の計	6点	5.25点	3.75点	3.75点
(1) 事業コンセプト	3点	2.25点	2.25点	2.25点
(2) 事業実施体制及び働く環境整備	3点	3.00点	1.50点	1.50点
2. 設計・建設業務に関する事項 (1)～(7)の計	34点	28.25点	22.00点	20.75点
(1) 配置計画、動線計画、外構計画   ア・イの計	8点	8.00点	6.00点	4.00点
ア 施設配置計画、外部動線計画	4点	4.00点	3.00点	2.00点
イ 外構計画、外観	4点	4.00点	3.00点	2.00点
(2) 施設整備計画                   ア～エの計	12点	10.75点	7.75点	7.75点
ア ゾーニング計画、内部動線計画	3点	3.00点	2.25点	2.25点
イ 厳肅性、快適性、機能性	4点	4.00点	3.00点	3.00点
ウ 施設及び設備のメンテナンス性、更新性能	3点	2.25点	1.50点	1.50点
エ ユニバーサルデザイン	2点	1.50点	1.00点	1.00点
(3) 火葬炉設備計画               ア・イの計	14点	9.50点	8.25点	9.00点
ア 火葬炉の性能、運転操作性、メンテナンス性、更新性等	3点	2.25点	2.25点	2.25点
イ 火葬炉の安全対策、非常時の対応	2点	1.00点	1.50点	1.50点
(4) 運営支援設備計画(予約システムの性能)	2点	1.00点	1.00点	1.00点
(5) 環境への配慮	3点	2.25点	1.50点	2.25点
(6) 防災計画	2点	1.50点	1.00点	1.00点
(7) 施工計画、施工方法、工事期間中の配慮事項	2点	1.50点	1.00点	1.00点
3. 維持管理・運営業務に関する事項 (1)～(3)の計	20点	15.00点	12.25点	14.50点
(1) 維持管理・運営体制の基本的な考え方と取組体制	2点	1.50点	1.50点	2.00点
(2) 維持管理計画               ア～ウの計	9点	6.00点	5.25点	6.25点
ア 個別業務(火葬炉以外)の提案	4点	3.00点	2.00点	3.00点
イ 火葬炉の維持管理計画	3点	1.50点	2.25点	2.25点
ウ 施設の長寿命化、長期の修繕計画や引渡し等	2点	1.50点	1.00点	1.00点
(3) 運営計画                   ア～ウの計	9点	7.50点	5.50点	6.25点
ア 個別業務の提案	4点	3.00点	3.00点	3.00点
イ ミス・トラブルの未然防止策、サービス向上方策、セルフモニタリングの実施	2点	1.50点	1.00点	1.00点
ウ 光熱水費や使用燃料の節約方法の提案	3点	3.00点	1.50点	2.25点
4. 事業計画に関する事項 (1)～(3)の計	10点	9.25点	6.75点	9.50点
(1) 長期収支の安定性           ア・イの計	4点	4.00点	3.00点	3.50点
ア 資金調達計画、長期収支計画	2点	2.00点	1.50点	2.00点
イ 財務の健全性・安定性	2点	2.00点	1.50点	1.50点
(2) リスク管理	3点	2.25点	1.50点	3.00点
(3) 地域経済への貢献	3点	3.00点	2.25点	3.00点
<b>加点審査点</b> <b>1～4の計</b>	<b>70点</b>	<b>57.75点</b>	<b>44.75点</b>	<b>48.50点</b>

## エ 価格審査（30点満点）

各グループの入札書に記載された金額が予定価格の範囲内であることを確認した。  
その後、入札金額を次の方法で点数化した。

$$\text{価格点} = 30 \text{点} \times (\text{最低入札価格} / \text{入札価格})$$

※価格審査点(小数点以下)は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで取り扱う。

### <価格審査結果>

	クスノキ	ヤマモモ	クロマツ
入札金額	5,276,053,732円	5,198,588,216円	4,933,309,817円
計算式	30点× (4,933,309,817 /5,276,053,732)	30点× (4,933,309,817 /5,198,588,216)	30点× (4,933,309,817 /4,933,309,817)
価格審査点	28.05点	28.47点	30.00点

## オ 総合評価（100点満点）

加算審査点に価格審査点を加算し、総合評価点とした。

$$\text{総合評価点} = \text{加算審査点} + \text{価格審査点}$$

### <総合評価結果>

	クスノキ	ヤマモモ	クロマツ
加算審査点	57.75点	44.75点	48.50点
価格審査点	28.05点	28.47点	30.00点
総合評価点	85.80点	73.22点	78.50点

以上より、総合評価点が最も高いクスノキの提案を最優秀提案として選定した。

## 4 審査の講評

### (1) 各評価項目の講評

#### 1. 全体・事業コンセプトに関する事項

評価項目	審査講評
(1) 事業コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループともに、基本方針等を踏まえた独自の事業コンセプトが具体的に示されており、これらの提案が高く評価された。</li> </ul>
(2) 事業実施体制及び働く環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>クスノキグループは、事業実施体制や情報共有による組合との連携等に関する提案が具体的に示されており、これらが特に高く評価された。</li> <li>ヤマモモ及びクロマツグループは、事業実施体制等に関する提案が示されており、これらが評価された。</li> </ul>

#### 2. 設計・建設業務に関する事項

評価項目	審査講評
(1) 配置計画、動線計画、外構計画	
ア 施設配置計画、外部動線計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループともに、施設配置や動線計画について独自の工夫を凝らした提案が示された。</li> <li>クスノキグループは、周辺企業への配慮やアプローチから車寄せ・駐車場に至るスムーズな動線が工夫されており、これらが特に高く評価された。</li> <li>ヤマモモグループは、施設の配置・動線や北側緑地テラスとの接続に工夫を凝らした提案が示されており、これらが高く評価された。</li> <li>クロマツグループは、施設配置や動線計画全般についての提案が示され、これらが評価された。</li> </ul>
イ 外構計画、外観	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループともに、外構計画、外観について工夫を凝らした提案が示された。</li> <li>クスノキグループは、特に周辺企業への配慮や緑地の活用、大屋根とその活用に関する提案が示されており、これらが特に高く評価された。</li> <li>ヤマモモグループは、北側緑地を含む外構計画、外観に独自の提案が示され、これらが高く評価された。</li> <li>クロマツグループは、外構計画、外観全般についての提案が示され、これらが評価された。</li> </ul>
(2) 施設整備計画	
ア ゾーニング計画、内部動線計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループともに、ゾーニング、内部動線について工夫を凝らした提案が示された。</li> <li>クスノキグループは、スムーズな葬送動線や会葬者に配慮された提案が示されており、特に高く評価された。</li> <li>ヤマモモ及びクロマツグループは、各室の配置やゾーニング、動線計画に独自の提案が示されており、これらが高く評価された。</li> </ul>
イ 厳肅性、快適性、機能性	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループともに、厳肅性、快適性、機能性について工夫を凝らした提案が示された。</li> <li>クスノキグループは、会葬者への配慮や快適性・機能性確保に関する具体的な提案が示されており、これらが特に高く評価された。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤマモモ及びクロマツグループは、快適性確保についての提案が示され、これらが高く評価された。</li> </ul>
ウ 施設及び設備のメンテナンス性、更新性能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループともに、施設及び設備のメンテナンス性、更新性能について工夫を凝らした提案が示された。</li> <li>・クスノキグループは、大屋根による雨水排水への対応、屋上階段・バルコニー等のメンテナンス上の工夫、電気室・発電機室・受水槽の設置についての提案が示されており、これらが高く評価された。</li> <li>・ヤマモモ及びクロマツグループは、施設及び設備のメンテナンス性、更新性能全般についての提案が示され、これらが評価された。</li> </ul>
エ ユニバーサルデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クスノキグループは、ユニバーサルデザインについて詳細かつ多岐・詳細にわたる具体的な提案が示されており、これらが高く評価された。</li> <li>・ヤマモモ及びクロマツグループもユニバーサルデザインについての提案が示され、これらが評価された。</li> </ul>
(3) 火葬炉設備計画	
ア 火葬炉の性能、運転操作性、メンテナンス性、更新性等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループともに、火葬炉の性能、運転操作性、メンテナンス性、更新性能について具体的な提案が示されており、これらが高く評価された。</li> </ul>
イ 火葬炉の安全対策、非常時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クスノキグループは、火葬炉の安全対策、非常時の対応についての提案が示されており、これらが評価された。</li> <li>・ヤマモモ及びクロマツグループも同様の提案が示されたことに加えて、非常時の対応等についての具体的かつ詳細な提案があり、これらが高く評価された。</li> </ul>
(4) 運営支援設備計画 (予約システムの性能)	
(5) 環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループともに、環境への配慮について具体的な提案が示されていた。</li> <li>・クスノキグループは空調を工夫した省エネ方策、クロマツグループは環境への配慮に関する詳細の提案があり、これらが高く評価された。</li> <li>・ヤマモモグループは、環境への配慮全般に関する提案があり、これが評価された。</li> </ul>
(6) 防災計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループともに、防災計画について具体的な提案が示されていた。その中で、クスノキグループは、耐震対策・高潮対策とともに豪雨時の対応策も詳細に示されており、これらが高く評価された。</li> <li>・ヤマモモ及びクロマツグループは、耐震対策・高潮対策に関する提案があり、これらが評価された。</li> </ul>
(7) 施工計画 施工方法、工事期間中の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループともに、施工計画、施工方法、工事期間中の配慮事項に関する提案が示されていた。その中で、クスノキグループはICTやBIMの活用などの具体的かつ詳細な提案があり、これらが高く評価された。</li> <li>・ヤマモモグループもICTやBIMの活用等の提案等が示され、また、クロマツグループは施工計画全般についての提案が示され、これらが評価された。</li> </ul>

### 3. 維持管理・運營業務に関する事項

評価項目	審査講評
(1) 維持管理・運営体制の基本的な考え方と取組体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クスノキ及びヤマモモグループは、実施体制や火葬集中時等の体制についての提案が示されており、これらが高く評価された。</li> <li>・クロマツグループも同様の提案が示されていることに加えて、責任者の常駐やピーク時の体制等に関する具体的な提案があり、これらが特に高く評価された。</li> </ul>
(2) 維持管理計画	
ア 個別業務(火葬炉以外)の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クスノキ及びクロマツグループは建築物や建築設備等個別の維持管理業務について、詳細かつ具体的な提案が示されており、これらが高く評価された。</li> <li>・ヤマモモグループも、建築物や建築設備等個別の維持管理業務全般についての提案が示され、これらが評価された。</li> </ul>
イ 火葬炉の維持管理計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クスノキグループは、火葬炉の維持管理計画について具体的な提案が示されており、これらが評価された。</li> <li>・ヤマモモ及びクロマツグループも同様の提案が示されていることに加えて、グループ独自の排ガス類の目標値設定等が示されており、これらが高く評価された。</li> </ul>
ウ 施設の長寿命化、長期の修繕計画や引渡し等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クスノキグループは、施設の長寿命化、長期の修繕計画や引渡し等に関して、具体的かつ詳細の提案が示されており、これらが高く評価された。</li> <li>・ヤマモモ及びクロマツグループは、施設の長寿命化、長期の修繕計画や引渡し等に関する提案があり、これらが評価された。</li> </ul>
(3) 運営計画	
ア 個別業務の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループともに、運営に関する個別業務の提案が具体的に示されており、これらの提案が高く評価された。</li> </ul>
イ ミス・トラブルの未然防止策、サービス向上方策、セルフモニタリングの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループともに、ミス・トラブルの未然防止策、サービス向上方策、セルフモニタリング実施に関する提案が示された。</li> <li>・クスノキグループは、ミス・トラブルの予防対策や緊急時の体制・対応等についての提案が示され、これらが高く評価された。</li> <li>・ヤマモモグループはセルフモニタリングについて、クロマツグループは職員の教育・研修やBCP策定についての提案が示され、これらが評価された。</li> </ul>
ウ 光熱水費や使用燃料の節約方法の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クスノキグループは、火葬炉の燃料や空気調和設備の省エネルギー対策、目標値の設定等に関する具体的な提案が示されており、これらが特に高く評価された。</li> <li>・ヤマモモグループは、火葬炉の燃料や空気調和設備の省エネルギー対策等の提案が示され、これらが評価された。</li> <li>・クロマツグループは、効果的な光熱水費の削減計画、目標値の設定等に関する具体的な提案が示され、これらが高く評価された。</li> </ul>

### 4. 事業計画に関する事項

評価項目	審査講評
(1) 長期収支の安定性	
ア 資金調達計画、長期収支計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資金調達計画、長期収支計画について、クスノキ、クロマツグループは合理的かつ健全な計画の提案が、具体的かつ詳細に示されており、これらが特に高く評価された。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤマモモグループは、資金調達計画、長期収支計画の提案が示され、これらが高く評価された。</li> </ul>
イ 財務の健全性・安定性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループともに、財務の健全性・安定性について具体的な提案が示されていた。この中で、クスノキグループは資金不足時のリスク対応についての提案があり、これらが特に高く評価された。</li> <li>・ヤマモモ及びクロマツグループは、財務の健全性・安定性全般についての提案があり、これらが高く評価された。</li> </ul>
(2)リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クスノキグループは、リスク管理、認識、対応策等に関する具体的な提案が示されており、これらが高く評価された。</li> <li>・ヤマモモグループは、リスク管理全般に関する提案が示され、これらが評価された。</li> <li>・クロマツグループは、リスク管理、認識、対応策に加えてモニタリング体制等に関する具体的な提案が示されており、これらが特に高く評価された。</li> </ul>
(3)地域経済への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クスノキ及びクロマツグループは、地元企業、地域経済に対する効果と高い地域雇用等に関する具体的かつ詳細の提案が示されており、これらが特に高く評価された。</li> <li>・ヤマモモグループは、地域経済に関する具体的な提案が示され、これらが高く評価された。</li> </ul>

## (2) 審査の総評

本事業は、新斎場の設計・建設及び維持管理・運営を行うことを目的とするものである。

民間事業者に設計・建設及び維持管理・運営を一括かつ長期的に実施させることにより、民間事業者の創意工夫が発揮され、財政負担の削減及び公共サービス水準の向上等が期待されることから、PFI方式での実施となった。

今回、複数の企業から関心が寄せられた中で、最終的に3グループから応募があった。いずれのグループの提案も、これまでの各企業の実績をもとにした独自のノウハウや技術が盛り込まれており、組合の要求水準を大きく上回る提案内容が示されていた。提案書の作成等における努力に対して敬意を表するとともに、深く感謝申し上げたい。

選定委員会では、落札者決定基準に基づき、各審査項目について厳正かつ公正に審査を行った。審査の結果、株式会社熊谷組を代表企業とする熊谷組グループを最優秀提案者として選定した。当該グループからは、事業コンセプト、設計・建設業務、維持管理・運營業務に関する事項について、数多くの優れた提案があった。

今後、熊谷組グループは、組合と事業契約を締結するための協議を行うこととなるが、組合の要求事項のみならず、提案された内容を確実に履行することが求められる。そのうえで、本事業をさらに充実したものとし、事業期間にわたって、安定的な施設の稼働や良質なサービスの提供ができるように、熊谷組グループに対しては次の事項に留意して事業を実施されることを望みたい。

- 施設の稼働開始時期を遵守するとともに、組合や構成市の意向を十分に取り入れながら、要求水準書及び提案内容を確実に履行すること。その際、関係機関（警察、消防、水道等）との協議を十分に行うこと。
- 故人との最後のお別れをする場としてふさわしい施設とするため、利用者の快適性・機能性・利便性・安全性・地域性等に十分配慮すること。また、利用者を支えるスタッフの心身の健康に配慮した働きやすい環境を整えること。
- 当該地域の立地条件を考慮した塩害対策や景観計画・維持管理（特に北側緑地の活用、雨水等の活用も含めたメンテナンスコスト縮減策等）について、更なる検討を進めること。
- 官民リスク（費用負担の取り決めなど）を認識したうえで、既存建物、埋設物、土間、基礎、杭等の撤去に努めること。
- 予約システムの稼働に関しては、利用者の利便性や平等性等に十分配慮するとともに、これまでの手続き方法から、わかりやすくかつスムーズな移行が可能なように、組合や構成市との協議を進めること。
- 建物の内部動線計画に関連し、諸室の配置、会葬者の動線計画等について、日常時・非常時の機能性、安全性を十分確保したものとするため、更なる検討を進めること。
- 火葬炉の維持管理、修繕等について、提案で示された業務内容を着実に実行するとともに、より高いサービスレベルの向上、技術革新・新技術の導入の工夫等の追及に努めること。
- 今後の長期にわたる本事業の中で、組合の財政負担の縮減に寄与すべく、光熱水費及び運営全般のコスト削減について、更なる工夫や改良を講じていくこと。特に、データベースを活用した予防保全については、データの根拠を含めて組合や構成市と共有しながら維持管理を進めること。
- 災害時に備えた運営計画を構築すること。特に、受水槽の容量等は組合、構成市、関係機関等と十分に協議を行い設定すること。
- 地域への貢献に関する提案については、今後、着実な実行に努めること。また、その実行に当たっては、地域・地元に対し良好な関係を構築・維持すること。

最後に、長期にわたる事業期間を通じて組合及び構成市と熊谷組グループが良きパートナーとなり、地域との信頼関係を築きながら、本事業を計画的かつ適切に推進することを希望する。また、上記の配慮・要望事項について、入札及び契約の公平性を妨げない範囲において本事業をより良いものとするために組合や構成市と十分な協議を行い、真摯な対応に努め、今後の事業期間にわたり質の高い公共サービスの提供を期待する。

以上